

# 「貝類標本」の寄贈者

# 長尾八重子さんが来館されました！

さとうみ科学館に 6,400 種を超える「貝類標本コレクション」を寄贈していただいた長尾八重子さんが親族の方々と来館されました。平山主任の説明を聞きながら、寄贈していただいた標本を活用して開催している「世界の貝類展」をご覧になりました。またこの日、江田島市教育委員会の小野藤訓教育長から感謝状も手渡されました。



故長尾正一さんのことを思い出されながら、収集されていた頃の話や貝の魅力について語られていました。

## 【 さとうみ MUSIC (シリーズ5) 】

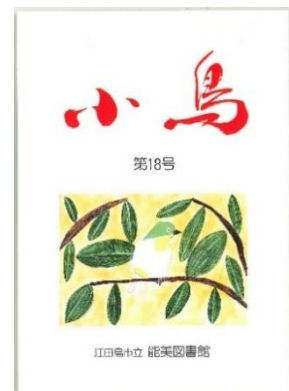
# 「干潟のレストラン」の歌を知っていますか？



12月、能美図書館が制作している児童文学誌「小鳥」の第18号(左下写真)が発行されました。もうご覧になりましたか？最新刊のトップを飾るのは『干潟のレストラン』という童謡です。このニュースレターでも度々紹介する「さとうみ MUSIC」シリーズの第5弾です！作詞・作曲はおなじみ“Satsuki & Kazu”の二人組。今回いよいよ、当館のマスコットキャラクターのモデルでもある「ハクセンシオマネキ」が、満を持して登場です！紙面(次のページ)では小さくて見えにくいですが、今回も楽譜・音源を、さとうみ科学館HP内にある教育コンテンツ「さとうみ MUSIC」で公開するので、ぜひ一度、きいてみてください。いっしょに歌ってね！

### 干潟ひがたのレストラン

- 一 白いセンスで潮招く  
それはハクセンシオマネキ  
招いているのは 潮じゃなく  
家族になつてほしい君
- 二 恋のダンスで君招く  
それはハクセンシオマネキ  
招いているけど 食事中  
家族になつてほしい君
- 三 そこは干潟のレストラン  
あちらこちらで恋のダンス  
あちらこちらで食事中  
ハクセンシオマネキ  
ハクセンシオマネキ



能美図書館 発行  
児童文学詩『小鳥』(第18号)

# やってみよう 見てみよう

## 「恋ダンス」の巻

ハクセンシオマネキの求愛行動である「ウェービング」。繁殖期になると、オスは自分の子孫を残すために、大きなハサミ脚をふってメスにアピールし、メスは気に入ったオスが見つかると交尾して卵を抱えなければならないため、しっかりとエサを食べて栄養分を蓄えます。このようなオス・メスの行動の違いを愉快的な歌にしてくれています！

♩ = 98

### 「干潟のレストラン」

Satsuki 作詞  
Kazu 作曲

しーろいのはセダヒ スンが での しき おまつ ねねラ くん それあ ははら ハハコ クセラ シンで シンコ オオの ママの ネメダン

キキス おないて いのける はたし おじや なくう かぞくになつてほしい きみー二

3. ハクセンシオマネキー ハクセンシオマネキー

### ◆ 作詞・作曲のお二人からのコメント ◆

- ♪ (Kazu) : ハクセンシオマネキが手を振るようなイメージで二拍子の曲にしました！軽快なリズムに乗ってお茶目なハクセンシオマネキを愉快地に歌ってくださいね。
- ♪ (Satsuki) : 広く、活気あふれる干潟に、うじゃうじゃとたくさんいるハクセンシオマネキ。あちこちで一生懸命ハサミを振るオスたち、あちこちでエサを食べ続けるメスたちの様子を思い浮かべながら書きました。